



## ESDで期待される人材とは？

今年度の環境省プロジェクトでは、薄井館長を中心に、ESDの推進を前面に出した地域教育力向上に取り組んでいます。



Education for Sustainable Development

ESDとは、

「持続可能な開発のための教育」

(Education for Sustainable Development)のこと。

2002年に日本が提案し、同年末に国連総会で採択されたから、すでに15年目を迎えますが、まだ一般への浸透は十分ではありません。

平成28年3月の文部科学省日本ユネスコ国内委員会の資料によると、「ESDで育むべき力あるいは態度(例)」として、①批判的に考える力、②進んで参加する態度、

③つながりを尊重する態度、④他者と協力する態度、⑤コミュニケーションを行う力、⑥多面的、総合的に考える力、⑦未来像を予測して計画を立てる力が上げられ、ESDの取組を評価する上で重視されているようです。

上の7つは、これから求められる人材に期待される力であることは確かですが、それだけに気をとられていると、そもそも「ESDは何のために必要なのか」という目的が見失われてしまう危険性を感じます。先の文書で、(例)となっているのは、まだ検討の余地があるという意味であろうし、実際、別の文科省の資料によると、ESDで育むべき力として、①持続可能な開発に関する価値観(人間の尊重、多様性の尊重、非排他性、機会均等、環境の尊重等)が第一に上げられ、以下②体系的な思考力(問題や現象の背景の理解、多面的かつ総合的なものの見方)、③代替案の思考力(批判力)、④データや情報の分析能力、⑤コミュニケーション能力、⑥リーダーシップの向上が上げられています。ESDを進める上での効果の評価方法については、この点十分に注意が必要です。



下記アドレスは10分足らずの動画ですが参考になりますので、是非ご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=c76Vmfp1Wbc>



ちなみに、このままでは地球がもたないのではなく、われわれ人類が持続可能かが問題だと思います。

うべ環境コミュニティー 浮田 正夫

祝 来館者 5万人 達成記念

学習室利用者が 5万人を突破しました。

学習館職員が今か今かと待ち構える中、7月19日16時15分、5万人目の方がご来館！前後に入館された方も一緒にお祝いをしました！

暑いけど出勤します！ 隊

8月27日(日)15時  
学習館前集合

お そうじ 隊

まちなか環境学習館 周辺や銀天街アーケードや塩田川、中川などを掃除しています。

楽しく「まち」をきれいにしませんか？  
おそうじの後はお茶会でホッとひと息♪

おそうじ隊の参加者には環境地域通貨エコハ2枚進呈！

宇部市環境学習ポータルサイト  
「うべっくる」

うべっくる

検索

<http://www.ubekuru.com> kuru.com

宇部市の環境学習拠点の紹介、環境関連のイベントのお知らせ等、随時更新しています。「銀天エコプラザ」の詳しい紹介もあります。facebook や Twitter へもこちらからアクセスできます。

まちなか環境学習館や環境に関することについて、ご意見・ご質問等、お気軽にお寄せください。ポータルサイト内の問い合わせ欄やブログ、フェイスブックのコメント欄もご利用ください。



## 東岐波里海再生の会

わたし達は郷土の干潟を再生し、アサリや魚介類が豊富であった、かつての海を取り戻すために17年前に会を立ち上げました。現在会員15名で殆んどが高齢者になりました。

活動目標として「きれいな海」「豊かな海」「地域に親しまれる海」を目指して、そして、小・中学校と連携して、環境教育を推進することを掲げ、日々活動しています。

これまでの主な活動は、河川の浄化を手始めに、アサリの成長に適した場所を見つけるために海底湧水の調査をし、陸からの栄養分が地中を通して、海に流れ出る場所を探しました。現在海底湧水がよく出る場所に網を張り、アサリを育てています。さらに一昨年から、今日注目されている地方創生の一環である休耕地の再利用のため、オリーブの栽培を行っています。

オリーブ植樹  
(平成28年12月3日)



アサリ稚貝放流  
(平成29年3月18日)

これは、「小野湖の水を守る会」と一緒に行っており、将来宇部市をオリーブの郷にしたいと思っています。特に少子高齢化を向かえ地方創生が叫ばれているとき、わたし達の活動も今までのようなグループで行うのではなく、地域全体で取り組むような方法を考える必要があります。

東岐波里海再生の会  
会長 寿恵村 泰生



うべ環境コミュニティー会員

ほっと

コラム

### ヤギ・ヒツジのいる風景



「ほら、いたいた、今日も来ているよ、こっちがヤギ、こっちがヒツジだよ」ときわ公園でヤギとヒツジによる除草をはじめて数日たったときのことです。

「前に散歩でヤギがいるのを見かけましてね。これは孫にみせておきたいと思っていました。それで今日孫を連れてきました。わたしたちの幼い頃は、自分で飼っていたし、集落の中でも数軒はヤギがいましたよ。ヤギの乳は大助かりでした。今思えば無駄のない、環境にいい生活でしたね」そう言って、懐かしそうにヤギのことをお孫さんに語っていました。

ときわ公園でのヤギ・ヒツジによる除草は、2012年度の実証実験を経て昨年秋に市から業務委託を受けて、1日3頭で15日間、ときわ公園の3箇所で行いました。



今年度は、1日4頭で12日間を計画しています。取組みの理由は、刈払機に使う化石燃料をできるだけ減らし

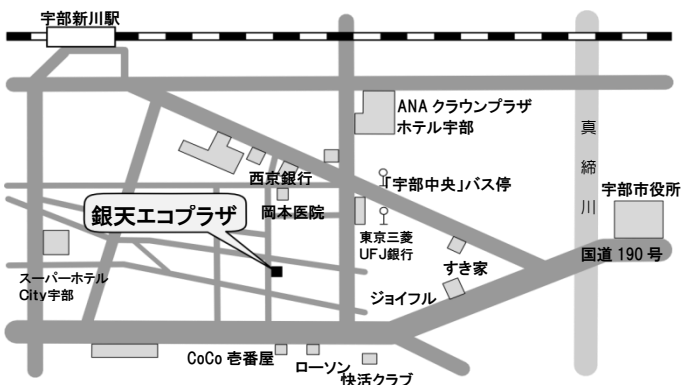
たいということです。

加えて、「ヤギ・ヒツジのいる公園は、歩いていても本当に気持ちがゆったりして落ち着きます」という市民の声が寄せられていることもあります。

「ヨーロッパやオーストラリアでは、道路や公園の除草はヤギ・ヒツジがメインだ。ときわ公園も追いついた」と教えてくれた人もいました。

都市部と農村部の混在する宇部市。高齢者や子どもが飼える身近な動物であるヤギ・ヒツジたち。そのヤギ・ヒツジが安心して草を食むことができる都市。それは、人々の暮らしやすさにもつながり、そう遠くない過去の知恵もよみがえらせるのではなからうか。そんなことを考えながらヤギ・ヒツジの番をしています。

山羊とその仲間たちの会 安藤 公門



### 宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し（近隣の有料駐車場等をご利用ください）

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekankyocom@gmail.com

開館時間 9時～21時 HPアドレス; <http://ubekuru.com/>

休館日 毎週火曜日、年末年始（12月29日～1月3日）